

# 共生社会実現へ宣言

## 社会福祉 大会・平泉 13人・団体表彰も

第32回平泉町社会福祉大会（町社会福祉協議会など主催）は6日、町学習交流施設エピカで開かれた。町の福祉向上などに功績のあった13の個人・団体を表彰し、誰もが安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現を目指す大会宣言を採択した。

社会福祉関係機関・団体などから約90人が出席した。大会長の寺崎敏子町社協会長は「地域課題では高齢者世帯の見守りや社会的孤立、生活困窮の長期化が特に深刻化する中、新しい住民同士の見守りや支え合う地域づくりなどが見いだされている。社協も基本理念の触れ合い、支え合い、ぬ

くもりのある福祉のまちづくりの実現へ日々努めていく」とあいさつ。壇上で被表彰者に表彰状などを手渡した。

町社協役員と福祉協力員を長年務めた社会福祉事業功労者の佐藤照子さん（76）＝同町長島＝は「在任中は東日本大震災に新型コロナウイルスの感染拡大と経験のない出来事が連続したが、皆さんと一緒に乗り切ることができ貴重な経験となった」と代表で謝辞を述べた。

この他、町内の福祉施設の仕事に触れるサマーボランティアスクールに参加した千葉梨夏さん（町立平泉小学校6年）、浅利南々子さん（町立平

泉中学校2年）が体験のまとめを発表。日本社会事業大准教授などを務める北川進さんが「平泉の力を活かした、これからの支え合いを考える」と題して記念講演した。

佐藤さんを除く被表彰者・団体は次の通り。（敬称略）

▽社会福祉事業功労者  
＝介護老人保健施設さわなり苑、鈴木陽子、千葉幸生▽ボランティア活動功労者＝パパさん読み聞かせサークル パパ♡イッヨ、浅利郁男、阿部美佐子、千葉亨、千葉忠夫、本澤京子▽褒賞＝大内治▽感謝状＝丹内財団、菅原光聰



平泉町社会福祉大会で寺崎会長（右）から表彰状を受け取る功労者